

本部名：門川町学校支援地域本部

連絡先：門川町教育委員会 社会教育課
電話：0982-63-1140
FAX：0982-63-5349

1 実施状況

対象学校	町内6校（門川町立門川小、草川小、五十鈴小、門川中、西門川小中）
活動分野	学習支援活動・環境整備・登下校の安全指導・学校行事外
【学校支援の取組】 読み聞かせ(通年)登下校の見守り(通年)ミシン掛け(通年)弁当作り(8月)見守り隊との交流給食(6月)職業体験学習(6月)草刈り・剪定・花壇整備(通年)しめ縄づくり(12月)昔の遊び等地域との交流(通年)田植え～餅つき(6～12月)ホタルの幼虫(11月)外	
○本部コーディネータ	(1) 人
○ボランティア登録数	(155) 人

2 特色のある取組の紹介

① 「ふるさとの川に輝け！ホタルの幼虫を放流」～西門川小中学校



【ここがイチオシ・本部自慢！】

・門川高校の協力によりゲンジボタルの幼虫を放流。環境と生命について考えた。

○ 活動内容

- ・総合的な学習の時間を利用して、11/18に地元の三ヶ瀬川でゲンジボタルの幼虫の放流を行った。
- ・西門川小1・2年生と西門川中の全校生徒あわせて32名が、ビオトープによるホタル飼育の先駆的な取り組みをする門川高校の指導の下で飼育した幼虫を放流。門川高校の生徒や地元の地区住民も放流の際に協力をいただいた。
- ・幼虫だけでなく、幼虫の餌となるカワナも一緒に放流。それまで、孵化から育ててきた幼虫の生態を観察した。



【ホタルの幼虫を放流するところ】

○ 事業を実施して(参加者等の声)

- ・あまり見ることが少なくなったホタルが増えることになれば、とても嬉しい(生徒)
- ・子どもたちがホタルに興味を持ち、さらに地元の自然の大事さを認識したようだ(地区住民)

② 「数十年ぶりに復活！門川ばんば踊り」～門川小学校



【ここがイチオシ・本部自慢！】

・地元の方々の協力により校歌と同じ歌詞の門川ばんばが復活、運動会で披露し大きな喝采を得た。



【地元の方から踊りを学ぶ様子】

○ 活動内容

- ・数十年前まで伝承されていた門川ばんばを、地元の方々の協力により復活させた。最初は難しい踊りや太鼓に戸惑ったものの、熱心な指導により10月の運動会で見事に披露できた。

○ 事業を実施して(参加者等の声)

- ・町内には、小園臼太鼓踊り(五十鈴小)や庵川ばんば踊り(草川小)があり、門川小だけなかったが、これで地域の伝統芸能の継承ができた。(指導者)

③ 「ほくにもできる 安心安全なミシン掛け」～町内小学校



【ここがイチオシ・本部自慢！】

・女性ボランティアの協力により、ミシン掛けを児童に伝授。安心安全なミシン掛けができた。

○ 活動内容

- ・家庭科の授業でのミシン掛けの際、女性ボランティア数名の協力を得て、児童へ使い方や注意点を指導。安全で安心なミシン掛けができるようになった。

○ 事業を実施して(参加者等の声)

- ・ミシンは針が速く動くので怖いイメージがあるが、きちんとした使い方を学べば、とても便利なものだった。(児童)



【ミシン掛けを習っている様子】